

東山の森だより

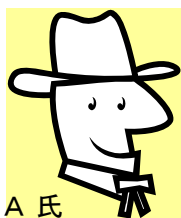
発行：なごや東山の
森づくりの会
発行者：滝川 正子
編集：中西 たかお
発行月：2005年12月
(年2回発行)

【第4号】

§ § 森の住人会議 議事録 § §

なごや東山の森づくりの会 書記役員 滝田 久憲

日時 東山のトウカエデが色づき始めた11月のある日曜日、 場所 天白溪湿地
出席者 なごや東山の森づくりの会会員A氏、ヒメタイコウチB氏（昔からの住人）、
アカガエルC氏（最近引っ越してきた住人）、ヒメアカネD嬢（沢止め池から参加）



A 氏

(A) こんにちは、皆さんお久しぶりですね 先日、森づくりの会でこの湿地の草取り
を行いました、ご感想は如何ですか。

(B) あの後で私らのエサとなっているコオロギなどの虫がいなくなって困っている。
もう少し時期が早かったら、死活問題だったよ。

(D) 私も今日こちらに伺って驚きました。いつも止まり木
に使っていたコナラが切られていました。

(C) 俺も寝込みを襲われ、写真までとられたよ。

(B) どうしてあそこまで草を刈ったの。

B 氏



C 氏

(A) 事前に打ち合わせもせず、作業をはじめて申し訳ありませんでした。
あの作業の目的は一言で言うと“生物の多様性の保全”のためです。

(C) どうも難しくよく分からないが、生き物がたくさん住んでおれば
良いのなら、逆のことをやっているのじゃないのか。

(D) そうよ、私の好物の虫もいなくなったわ。

(A) 本当にご迷惑をおかけしました。この湿地で求められる“生物の多様性”

とはここに住んでいる生物の種類の数ではなく、ここだけにしか見られない植物（周伊勢湾要素）
や (B) さん、ホトケドジョウなどの希少生物を守ることです。そこで、セイタカアワダチソウや
ミゾソバなどのような生命力の大きな外来種を除去して、もともと
ここに住んでいた植物を復元させようとしている訳です。

(B) でも。あの時の作業のやり方を見ていると、残すべきものとそうで
ないものを選別せず、一気に作業をやっていたぞ。

(C) そうだ。そうだ。おかげで私の寝床も壊されたよ。

(A) 痛いところをつかれました。本来、自然再生事業は地域の特性、生態系などを事前にしっかりと調
べ、自然の回復力を生かしながら最小限の作業にとどめるべきだと思います。作業後は、再生の
監視と評価をしなければなりません。しかし、これらの作業が十分になされていないのも現実です。
地域毎に事情が異なるので、他の地域の事例が参考にならないことも事実です。今後は、皆さんへ
の影響を考えつつ作業を進めたいと思いますので、長い目で見ていただけませんか。

(C) 分かった。ところで、現在ここには水がないが来年は大丈夫か。産卵期に水がないと困るが。

(D) そうよ、私達トンボの仲間も困っているのよ。

(A) 私も心配しています。地球温暖化がもたらす異常気象によるものですが、まだまだ続きそうです。
いつの間にか日も暮れ、D嬢が沢止め池に帰る時間となり、会議は終了しました。



D 嬢

協働：なごや東山の森づくりの会 名古屋市 (財)名古屋市みどりの協会

活動報告 2005年 7月～12月

活動拠点施設「里山の家」 開設

10月2日(日) 10:00～12:00 開所式

名古屋市が「なごや東山の森づくり」推進を目的として建設してきました活動拠点施設が完成し、開設の運びとなり、開所式が行われました。(財)名古屋市みどりの協会から森づくりの会代表へ鍵の引渡し、表札掛けの式典の後、参加者への施設のお披露目と祝賀の会が行われました。また、施設の愛称を決めるため予め用意されていた7点の候補名に対して参加者の投票が行われ、「**里山の家**」と決まりました。運用管理は「なごや東山の森づくりの会」が行うことになっており、開館日は当面、毎週土曜、日曜の10時～16時となっております。お披露目と並行して管理当番者の募集と業務内容の説明がありました。



定例会

7月3日(日) 10:00～14:00 天候：曇り／雨

活動場所：東山換気塔東南部と苗場奥の森での倒木整理。

参加者：29名(内、子ども2名)

活動内容：換気塔東南部の森は初めての活動エリアで、散策路やその周辺林内で倒木の整理、除伐。



8月7日(日) 5:00～20:00 天候：晴れ／曇り

平和公園南部での定例活動日でしたが、名古屋市内及びその周辺地域での気温測定に振り替えました。

9月4日(日) 9:00～12:00 天候：曇り／雨

活動場所：苗場周辺とその奥の森(東山公園南部)

参加者：29名(内、子ども3名、体験参加1名)

活動内容：苗場器具庫周辺とその奥斜面での倒木整理と主に常緑樹の間伐、除伐を実施。



10月2日(日) 13:00～15:00 天候：曇り／雨

活動場所：仮称「つどいの丘」(平和公園南部)

参加者：40名(内、子ども4名)

活動内容：建築廃材のガレキの山であったところに繁茂したクズなど雑草の除去と竹の除伐。拠点開所式を終えて、持参の弁当を済ませての作業でした。



11月6日(日) 10:00～13:00 天候：雨

活動場所：天白溪湿地とその周辺(東山公園中央)

参加者：21名(内、一般参加3名)

活動内容：湿地内一面に繁茂したサクラタデの除去。湿地を覆っている樹木の除伐。湿地周辺の倒木整理。

12月4日(日) 10:00～12:20 天候：雨

活動場所：ハンノキ湿地竹やぶ(平和公園南部)

参加者：25名(子ども1名、一般2名)

活動内容：愛知雑木林連絡会(9団体、10名)のフィールド訪問、及び里山学校との合同作業になりました。ハンノキ湿地上流部の侵入竹の皆伐を目指しての作業でしたが、降雨が激しくなり午後の作業は中止。



その他の活動

☆トライアルサタデー（千種生涯学習センター講座）

東山の森づくり体験 「里山で遊ぼう！ はたらいてみよう！」

9月3日(土)～10月1日(土)の土曜日4回 10:00～12:00

参加者：親子 9組(23名) 森づくりの会からスタッフ4名がリーダーとして参加。 平和公園「くらしの森エリア」、東山南部「天白溪湿地周辺」で観察会と森づくり体験。

除伐した竹や小枝でクラフトづくりを楽しむ。



☆平和公園ナイトウォッチング（千種生涯学習センター講座）

夜の平和公園散策「風の音や虫の声を楽しもう！」

10月29日(日) 17:00～19:30 参加者：54名

リーダーとして森づくりの会から11名参加。平和公園口をスタートし、南尾根筋から中道へ。夜の森で、虫の声を聞き、赤い木の実を見つけたりしながら散策。途中ではオカリナ演奏などイベントも用意されて楽しいひとときでした。



☆返還された耕作跡地での除草・植樹(平和公園南部)

11月13日(日) 9:30～12:00 参加者：10名

平和公園南部で耕作地の返還が進んでいますが、返還された土地を里山として再生するための植樹をしました。



☆子ども東山の森づくり隊立ち上げ準備

名古屋市のNPO提案型協働モデル事業の助成を受けて、プログラムづくり委員会が組織されました。

11月4日(金) 18:30～ 第1回の委員会開催。

リーダーに田畑さんが選任されました。森づくりの次世代を担う後継者育成のプログラムづくりが推進されることになり、将来への希望が見えてきました。



☆名古屋気温測定2005

名古屋の夏は、暑いのか？「みんなで気温を測ろまい！」～朝露、夜風のある街をめざして～

8月7日(日) 名古屋市とその周辺172ポイント(内、会員44ポイント)で、約400人が参加。

午前5時から午後8時まで、毎正時に気温、風向など測定。ご苦労様でした。最高気温が東山通り本山交差点付近で36.6度 天白溪湿地で31.8度と市街地と緑地で4.8度の差でした。

なごや東山の森づくり憲章



私たち市民は、なごや東山の森づくりを通して共生型社会の実現をめざします。東山の森は、人々に潤いを与え、生き物たちに豊かな生育環境をもたらしています。東山の森は、人と自然の生命輝く森です。

私たちは、協働して森を守り育て、森と関わり、森づくりを生かし、次世代に森の大切さと素晴らしさを伝えることを目的としてここに憲章を定めます。

- 一、私たちは、東山の森の豊かな自然とともにあることを大切にします。
- 一、私たちは、森づくりを通して生活の知恵や技術を生かし、伝えます。
- 一、私たちは、協働して豊かな森づくりを進めます。

森の表情

ヒツキムシ；「ヌスビトハギ」とその鉤爪、「オオオナモミ」

友野 啓康



ヌスビトハギの鉤爪

取り付いて、と様々な工夫をしています。ヒツキムシには、このヌスビトハギやオオオナモミの様なマジックテープ方式のもの、チジミザサの様な接着剤方式のものがあり、東山の森散策の折、目を凝らして愛しむのも楽しみ方の一つですね。



オオオナモミ

真っ青な空に秋雲のもと東山の森の散策は最高と気分良く歩き廻って、さて足元を見るとズボンの裾にヒツキムシがいっぱい、こんな経験をされた方も多いのでは・・・。子孫存続の為植物は、種子を出来る限り競争の少ない環境に移しそこで繁栄させたい、自分では動けない為運び屋として、鳥・動物の食物としてや、「ガマ」の様に風に身を任せたり、「ゲンショウコ」の様に自分で爆ぜて飛び出したり、「ヌスビトハギ」の様に動物に

運営委員会

日時：毎月第3木曜日 18:30～20:50 場所：千種スポーツセンター第一会議室

会議参加者：役員、運営委員、名古屋市、(財)名古屋市みどりの協会、その他。

議題：森づくり定例会、主催事業の企画と結果報告。各種協賛事業、受託事業の実施計画と結果報告。「子ども東山の森づくり隊」など部会立ち上げの検討。拠点施設開設へ向けて名古屋市、みどりの協会との協議。臨時委員会を召集し、施設開設後の管理運営体制の整備確立を図る。

今後の活動予定

定例会： 毎月第1日曜日

1月8日 東山公園南部	3月5日 東山公園南部	5月7日 東山公園南部
2月5日 平和公園南部	4月2日 平和公園南部	6月4日 平和公園南部

集合場所、時間など詳細につきましては、その都度事前にメールなどで連絡致します。

子ども東山の森づくり隊プレイベント ～冬の東山の森についてみよう！！～

日時：2月11日(土)10:00～14:00 小雨決行 中止のときは2月18日(土)

対象：小学生 4年～6年生 場所：平和公園 ハンノキ湿地上流部の竹林

内容：竹きりと竹クッキング 森のビンゴゲーム

紹介

☆東山動植物園再生検討委員会

名古屋市が入場者数の減少している東山動植物園の再生を図るための委員会を組織し、滝川代表がメンバーの一員として参加し、検討が進められております。その検討委員会で進められている再生計画の内容と、森づくりの会の活動の拠り所となっている「なごや東山の森づくり基本構想」との整合性がどうなるのかが懸案事項になっております。

☆「里山の家」管理当番 募集！！

毎週土曜、日曜に午前10時から午後4時まで開館の施設管理者を募集しています。

詳しくは、下記 連絡幹事 鬼頭 保 まで、お問い合わせ下さい。

《会員募集》

人と自然の いのち輝く

「東山の森づくり」に参加しませんか！！

年会費：1,000円（企業 5,000円）

入会申込・問合せ：【連絡幹事】 鬼頭 保

Tel/Fax:052-751-9510

e-mail: kitou@sd.starcat.ne.jp

編集後記

「子ども森づくり隊部会」立ち上げのためのプログラムづくりが動き始めました。森づくり活動を次の世代につないでいく若者が育ってくれるよう願っています。

広報幹事 中西たかお Tel/Fax:052-781-7530

e-mail: ntakao33@titan.ocn.ne.jp

12月17日現在 会員数 184（個人：182 団体：1 企業：1）